

平成29年度 輸出に取り組む事業者向け対策事業に係る海外販売促進活動報告書

平成29年12月20日

農林水産省
食料産業局長 殿

全国農業協同組合連合会
輸出対策部

平成28年度補正における青果物輸出特別支援事業に係る海外フロンティア市場販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域 : イギリス・ロンドン
実施期間 : 平成29年 12月9日～12月10日
(フェアに係る出張 : 平成29年 12月8日～12月12日)



「イギリス・ロンドン TKトレーディング JA全農フェア」

1. 『イギリス・ロンドン TKトレーディング JA全農フェア』について

- (1)期間 :平成29年12月9日(土)～12月10日(日)
- (2)場所 :TKトレーディング 青果物販売コーナー
- (3)出席者 :TKトレーディング 河本社長他2名 全農輸出対策部 笠原
- (4)内容 : 人気定番化しているイチゴ、メロン、リンゴなどの果物を主軸にし、また現地駐在日本人のニーズに応じて、大根、キャベツ、小松菜等の野菜も輸出した。今回は冬の寒さの厳しい時期であるため、鍋にも使える野菜で品揃えの強化を図った。
またフェア当日には全農職員が売場に立ちPRを行った。
- (5)販売青果物(野菜・果実)
イチゴ、メロン、リンゴ、カボチャ、ゴボウ等:明細は別紙
- (6)出荷日程
12月4日 東京→ロンドン 航空便
12月7日 ロンドン TKトレーディングに到着
- (7)着荷状況
すべての商品はほぼ良好だった。

2. イギリス・ロンドン TKトレーディングでの「JA全農フェア」実施

(1)期間 : 平成29年12月 9日(土) 10:00~17:00
平成29年12月10日(日) 10:00~17:00

(2)場所 : イギリス・ロンドン TKトレーディング

(3)内容 :

TKトレーディングの店舗が所在するアクトン地区は日本人駐在員が多く、また全農フェアもロンドン中の日本人に浸透したこともあり、たくさんのお客様にご来店いただきました。

今回もこれまでに継続して、日本産の高品質な果物を中心に商品ラインナップを組んだが、加えて日本人駐在員向けには、冬の鍋物需要に目をつけた品ぞろえも行った。

結果として、狙い通り果物の好調な売れ行きに加えて、鍋用野菜も大変好評をいただきました。

日本人の来店者には全農フェアは恒例イベントとしても定着しており、久しぶりに食べる日本産農産物を買いに来店するのを楽しみしている方も多かった。

また課題として、まだまだイギリス人には日本産農産物は馴染みがないため、引き続き、本イベントを活用して、PR・拡販を図る。



定番の果物と冬野菜を中心に販売



会場のTKトレーディング入口は
全農フェアのノボリでPR



日本人駐在員が多い地区であるため
日本語のバナーでもPR



Japanese Fruitsシールやポスターで
オールジャパンをアピール



大根等の日本産の高品質さが
際立つ品目をセレクト



葉物・根菜類を中心とした
常温棚コーナー



果物等の高級品を中心として
冷蔵棚コーナー



今回は12月開催ということもあり
鍋にあう野菜を販売



鍋にあう野菜は
日本人駐在員家族から大人気

3. TKトレーディングとの打ち合わせ

(1)日時 :平成29年12月9日(土)

(2)場所 :TKトレーディング 店舗内

(3)内容 :

TKトレーディング 代表取締役 河本氏と輸出商品の着荷状況の確認、イギリス・欧州市場での日本産農産物・食品に対する直近の需要・トレンド、今後の販売拡大及び次回のフェア実施計画について打ち合わせを行った。

4. 所感

全農フェアはロンドン中の日本人に浸透したこともあり、多くのお客様にご来店いただきました。また日本人配偶者を持つ日本人以外のお客様も多く、はじめは日本人の配偶者と子供のために日本産農産物を購入しにご来店いただいていたが、今ではご本人が楽しみにしているとの声も聞く事が出来た。

欧州ではまだまだ日本産農産物の認知度は高くないが、このように少しずつでもきっかけをつくり、欧州に日本産農産物を広めることに取り組む。

5. 今後の進め方

○今年度のイギリスでの全農フェアはもう1回(1~2月頃)計画している。

今回の経験を活かして、よりお客様に喜ばれる品目を提案する。

○品目についてはニーズの高い旬の果物を主軸に据えながら、加えて野菜のラインナップも強化したい。

